

出演

三代目 桂 春蝶 (かつら しゅんちょう)

1975年1月14日大阪生まれ。父である二代目 桂春蝶の死をきっかけに噺家になることを決意。1994年 三代目 桂春団治に入門。古典落語の確かな技術に加え、歴史的題材を扱う「命の物語」シリーズが名高く、上方落語界の爆笑派・実力派として幅広く活躍されている。



- 1994年 三代目 桂 春団治に入門
- 2007年 なにわ芸術祭奨励賞受賞
- 2009年 なにわ芸術祭審査員特別賞受賞
- 2009年 8月30日 松竹座 三代目桂 春蝶襲名披露
9月27日 南座 三代目桂 春蝶襲名披露
これより、全国20カ所で襲名公演を開催。
- 2009 繁昌亭大賞爆笑賞受賞
- 2013年 咲くやこの花賞・大衆芸能部門受賞
- 2015年 上方落語家として初となるフェスティバルホー
独演会を開催、2700枚のチケットを完売させ、
功をおさめる。

近年「桂春蝶の落語で伝えたい想い」をシリーズ化し
「明日ある君へ～知覧特攻物語～」
「約束の海～エルトゥール号物語」
「手紙～親愛なる子供たちへ～」
「ニライカナイで逢いましょう～ひめゆり学徒隊秘抄録～」
「茶粥屋綺譚」
「行と業～わたしは千日回峰行を生きました～」
「石と夕陽の間のペロリ」
「お父さんのバックドロップ」
「ハマナスの誓い」

など新作落語を次々と発表。開催する独演会は必ず完売。上方落語中堅のなかで最も動員する噺家と言われている

【書籍】

春蝶の千夜一夜の物語 第一巻、第二巻、第三巻

あらすじ

鏡の中の親鸞～歎異抄より～

執筆活動だけでなく、生きることそのものに悩める文豪・太宰治が不思議な夢をみる

夢に登場したのは念仏者・親鸞とその弟子・唯円。

「善人なおもって往生をとぐ、いわんや悪人をや」

「さるべき業縁のもよほさば、いかなるふるまひもすべし」

自力とは、他力とは、念仏とは？

苦悩する太宰に、親鸞が伝えた救いのことばとは…。

笑って泣いて親鸞聖人の世界に触れてみて下さい。

監修

积 徹宗 (相愛大学学長)



春蝶師は、古典的な演目のみならず、文学や歴史・社会問題に基づいた独自の世界を語り続けています。

それはまさに春蝶ワールドといった感があります。そして、「鏡の中の親鸞」は、いわば特別編です。

この一席で「歎異抄」とはどんな内容が書かれているのかに触れることができます。

太宰治の「人間失格」と組み合わせるというアクロバティックな展開、ぜひご堪能ください。

1

妙延寺 MAP

駐車場には限りがあります。

お車でお越しの際は、乗り合わせでお越しください。

—

